年間授業計画 新様式

東京都立東大和南高等学校 令和8年度 教科　地歴公民　科目　歴史総合

教　科：　地歴公民　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（1・3・5・7組：菅野）（2・4・6組：西）

使用教科書：　歴史総合　近代から現代へ　　）

教科　地歴公民　の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や。考察、構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目　歴史総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代から現代に至るさまざまな歴史上の事柄について理解すること。	近代から現代に至るさまざまな歴史上の事柄について歴史的なものの見方や考え方について思考し、説明できること。	近代から現代に至るさまざまな歴史上の事柄についての学習に積極的に取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	明治維新と日本の立憲体制 ① 明治維新の特徴や、19世紀後半の東アジア情勢について十分に理解し、思考や説明を行うことができる。 ② 自由民権運動の進展や、立憲体制の特徴について十分に理解し、思考や説明を行うことができる。	・明治維新と諸改革 ・明治初期の対外関係 ・自由民権運動と立憲体制 教科書、資料集、プリント、一人一台端末（Teams・Classi利用　課題提出　パワーポイント作成）	【知識・技能】 ① 明治維新の特徴や、19世紀後半の東アジア東アジア情勢について理解する。 ② 自由民権運動の進展や、立憲体制の特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 ① 明治維新の特徴や19世紀後半の東アジア情勢に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 ② 明治維新の特徴や19世紀後半の東アジア情勢に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 明治維新の特徴や19世紀後半の東アジア情勢に関する学習に、積極的に取り組んでいる。 ② 自由民権運動と立憲体制に関する学習に、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	帝国主義の展開と東アジア ① 帝国主義列強の植民地獲得について理解し、思考や説明を行うことができる。 ② 日清戦争・日露戦争期の日本の動向について理解し、思考や説明を行うことができる。	・条約改正と日清戦争 ・日本の産業革命と教育の普及 ・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強の対立 ・日露戦争とその影響 教科書、資料集、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 ① 帝国主義列強の植民地獲得について理解できている。 ② 日清戦争・日露戦争期の日本の動向について理解できている。 【思考・判断・表現】 ① 帝国主義列強の植民地獲得に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 ② 日清戦争・日露戦争期の日本の動向に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 帝国主義列強の植民地獲得に関する学習に、取り組む姿勢がみられる。 ② 日清戦争・日露戦争期の日本の動向に関する学習に、取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	6
	第一次世界大戦と大衆社会 ① 第一次大戦と民族運動について理解し、思考や説明を行うことができる。 ② 第一次大戦後の社会の変容について理解し、思考や説明を行うことができる。	・第一次世界大戦とロシア革命 ・国際平和と安全保障 ・アジア・アフリカの民族運動 ・大衆消費社会と市民生活の変容 ・社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 教科書、資料集、プリント、一人一台端末（Teams・Classi利用　課題提出）	【知識・技能】 ① 第一次大戦と民族運動について理解できている。 ② 第一次大戦後の社会の変容について理解できている。 【思考・判断・表現】 ① 第一次大戦と民族運動に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 ② 第一次大戦後の社会の変容に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 第一次大戦と民族運動に関する学習に、取り組む姿勢がみられる。 ② 第一次大戦後の社会の変容に関する学習に、取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	経済危機と第二次世界大戦 ① 世界恐慌とその後の各国の動向について理解し、思考や説明を行うことができる。 ② 第二次大戦（ヨーロッパの戦争とアジアの戦争）について理解し、思考や説明を行うことができる。	・世界恐慌の発生と各国の対応 ・ファシズムの台頭 ・日本の恐慌と満州事変 ・日中戦争と国内外の動き ・第二次世界大戦と太平洋戦争 教科書、資料集、プリント、一人一台端末（Teams・Classi利用　課題提出）	【知識・技能】 ① 世界恐慌とその後の各国の動向について理解できている。 ② 第二次大戦（ヨーロッパの戦争とアジアの戦争）について理解できている。 【思考・判断・表現】 ① 世界恐慌とその後の各国の動向に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 ② 第二次大戦（ヨーロッパの戦争とアジアの戦争）に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 世界恐慌とその後の各国の動向に関する学習に、取り組む姿勢がみられる。 ② 第二次大戦（ヨーロッパの戦争とアジアの戦争）に関する学習に、取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	戦後の国際秩序と日本の改革 ①第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 ②国内の人びとの生活や、中国・朝鮮から動員された人びとの生活がどうであったか理解している。	・新たな国際秩序と冷戦の始まり ・アジア諸地域の独立 ・占領下の日本と民主化 ・占領政策の転換と日本の独立 教科書、資料集、プリント、一人一台端末（Teams・Classi利用　課題提出　パワーポイント作成）	【知識・技能】 ①第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していこうとしているか理解している。 ②「大西洋憲章」を読み、国際秩序をどのようにして構築していこうとしたか理解している。 【思考・判断・表現】 ①国際連合のしくみと内容について、政治的・経済的な面から理解して、新しい秩序にどう対応していくか考察している。 ②ドイツの分割統治について、アメリカ・イギリス・フランス側とソ連側を比較して考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①冷戦という新たな対立がおこった、背景・過程・結果を追究しようとしている。 ②米ソの巨大化にともない、ヨーロッパ諸国が弱体化していくことについてその理由を追究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3学期	冷戦と世界経済 ①西側陣営が各地に集団防衛機構を構築した目的を理解する。 ②東側陣営がワルシャワ条約機構を築いた背景を理解し、世界におよぼした影響を考察する。 ③アメリカの核独占状況と、それに対するソ連の核兵器開発の成功がおよぼした影響を理解する。 ④核開発競争の過熱化について理解し、原子力発電開発の本格化との関係を考察する。	・集団防衛体制と核開発 ・米ソ両大国と平和共存 ・西ヨーロッパの経済復興 ・第三世界の連携と試練 ・55年体制の成立 ・日本の高度経済成長 ・核戦争の恐怖から軍縮へ ・冷戦構造のゆらぎ ・世界経済の転換 ・アジア諸地域の経済発展と市場開放 教科書、資料集、プリント、一人一台端末（Teams・Classi利用　課題提出　パワーポイント作成）	【知識・技能】 ①西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解している。 ②1950年代にアメリカの黒人差別への批判などが高まった背景を理解している。 【思考・判断・表現】 ①ワルシャワ条約機構が結成された背景と、その影響について考察している。 ②核兵器開発競争の過熱化が国際連合の下で、原子力発電の開発の本格化につながったことを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①ワルシャワ条約機構が結成された背景と、その影響について考察している。 ②核兵器開発競争の過熱化が国際連合の下で、原子力発電の開発の本格化につながったことを考察している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1 合計 70